

1 地域産業の発展・チャレンジ環境の整備

現状・課題

- 中小企業・小規模企業を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少による人手不足や経営者の高齢化、市場の縮小や人口構成比の変化に伴うニーズの変化とともに、インターネット取引の増加、海外との競争激化、日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表や新型コロナウイルス感染症などの影響で非常に厳しい状況にあります。
- 地域産業の活性化に向け、創業・起業などを志す女性や若者を始め、あらゆる人の新たなチャレンジに対し地域全体で応援する環境を整える必要があります。
- 空き店舗や空きビル等の遊休不動産が増加し、商店街等の地域商業の活力が低下しています。
- 2050年のカーボンニュートラル^{*}への挑戦を、産業や地域経済の発展につなげていく必要があります。

施策 1 中小企業・小規模企業の支援

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう17 パートナーシップで
目標を達成しよう

施策の方向

呉市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、市民、金融機関等と連携・協力して地域全体で支援し、自助努力と創意工夫あふれる中小企業・小規模企業が育ち、飛躍することで、地域経済の活性化を図り、まちにイノベーションが起こるよう取り組みます。

公益財団法人くれ産業振興センターを通じ、創業期・事業拡大期・事業承継期という、企業のそれぞれのステージに応じ、商品・サービス開発、技術向上、資金繰り、財務人事等の経営基盤強化等、各種の相談・支援について、全ての業種を対象に行っていきます。

また、事業者自らが戦略的な視点に立ち企業経営を行い、脱炭素社会の実現に向けた世界的な課題への対応を新たなビジネスチャンスととらえ、成長産業へも参入していけるよう、セミナー・研修会等による人材育成を図るとともに、異業種交流会の開催など、人的ネットワークの構築を進め、イノベーションが生まれやすい地域づくりに努めます。

^{*} カーボンニュートラル：温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロにする考え

主な取組

- (1) 中小企業・小規模企業の振興
 中小企業・小規模企業への専門家による助言等，経営革新等への支援，中小企業・小規模企業振興会議に基づく新たな施策の検討など
- (2) 金融支援の充実
 呉市中小企業融資制度，セーフティネット保証の認定など
- (3) 新事業・新製品開発，技術伝承・後継者育成支援事業
 くれ産業振興センター等による新事業・新製品開発に対する支援や技術伝承・後継者育成に関する相談，次世代型ビジネスモデル支援サービス「Bit's 呉」による効果的な支援プログラムの提供など
- (4) くれ医工連携推進事業
 医療・福祉，教育機関，企業，支援機関等との懇談会の開催など
- (5) 経営力強化事業
 物販事業の参加斡旋^{あつせん}，国内外への販路拡大を目的とした商談機会の創出，販路拡大セミナーの開催，呉市産業マイスター表彰など
- (6) 農水産業連携
 農水産業者と連携した販路開拓・拡大への支援など

施策

2 新たなチャレンジへの支援



施策の方向

女性や若者を始めとしたあらゆる人の新たなチャレンジに対して，市民，民間企業等と連携・協力して，地域全体で「呉であれば何かチャレンジができる」という創業機運の醸成と起業家の支援・育成を図り，「起業が起業を呼ぶ」サイクルを構築し，地域産業の活性化に取り組みます。

主な取組

- (1) 創業・起業支援事業
 呉市が実施するクラウドファンディング型ふるさと納税により資金を調達する起業家支援プロジェクト，創業・起業支援ポータルサイトの開設，プラットフォームの構築，販路拡大セミナーの開催（再掲），支援機関による経営支援，起業家同士の交流促進など
- (2) まちづくり人材育成事業
 リノベーションまちづくりの促進など

施策 3 商業の活性化

8 働きがいも
経済成長も



施策の 方向

遊休不動産を新しい方法で再生・活用するリノベーションを推進し、個性あふれる魅力的な店舗の出店を促進するとともに、路上空間の活用などにより既存店舗の活性化を促すことで、商店街の新たな魅力を創出し、ひいては、まちの価値の向上を図っていきます。

主な 取組

(1) 商店街振興事業

商店街のハード整備、各種イベント開催への支援など

(2) 官民連携まちづくり事業

遊休不動産を再生・活用するリノベーションまちづくり事業やオープンスペースの活用など

指標

項目	現状		目標	
中小企業経営革新計画承認企業数（累計）	R元	6社	R7	46社
創業・起業数*（累計）	R元	139者	R7	877者

* 国の認定創業支援事業計画調査に対する呉商工会議所等の経済団体、金融機関、支援機関の支援件数の合計であるため、重複があります。

現状・課題

- 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表や新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の雇用に大きな影響が見込まれます。多様性のある産業構造への転換を図るため、製造業等に加えて、成長が見込まれる産業分野の企業やベンチャー企業などの誘致を推進するとともに、雇用対策に取り組む必要があります。
- 雇用のミスマッチ等により人材不足の問題が生じています。市内企業の存続と呉市経済の発展のためにも、必要な人材を確保していく必要があります。
- 高齢者や障害者の雇用促進や女性の社会進出など、労働に関する社会状況が大きく変化しています。勤労者一人ひとりが安心して働けるよう、福祉の増進を図っていく必要があります。

施策

1 企業誘致・留置活動の推進

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



施策の方向

地域経済が持続的に発展することができるよう、新たな成長産業やオンリーワン企業の誘致を推進するとともに、地元企業の企業留置や事業転換・拡大に伴う設備投資に対する支援などを行い、雇用機会の創出を図ります。また、多様な人材の交流や先端技術の集積によるイノベーションを誘発するため、大学・研究機関等の誘致を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたテレワークやワーケーションへの関心の高まりなど、働き方や生活様式に対する社会の変化に柔軟に対応し、サテライトオフィスなどの誘致につながるよう積極的に取り組みます。

主な取組

- (1) 事業用地の確保
民間遊休地等の活用、新たな産業団地の検討など
- (2) 企業誘致・留置対策
トップセールス等の積極的・効果的な企業誘致、大規模設備投資に対する助成など
- (3) 新しい生活様式に対応した企業誘致
サテライトオフィスの誘致、ワーケーションの促進など



施策の
方向

市内企業と就業希望者の適切なマッチングを効率的に行うことで、必要な人材を確保するとともに、呉市雇用促進協議会により高校生等に対する呉の産業PRを行うなど、新たな雇用の創出につなげます。

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表や新型コロナウイルス感染症の影響による雇用対策についても、広島県やハローワーク等の関係機関と連携して取り組みます。

主な
取組

(1) 呉市雇用促進協議会事業

企業情報の発信，小中学校の児童・生徒による企業見学，企業のインターンシップの促進，広島広域都市圏UIJターン促進協議会事業でのPRなど

(2) 呉市シルバー人材センター運営支援

シルバー人材センターの運営に対する支援

(3) 日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区休止への対策

雇用マッチング・ビジネスマッチング・ビジネスモデル転換支援事業など



施策の
方向

一般財団法人くれ勤労者福祉サービスセンターや、呉市きんろうプラザを活用した福利厚生事業を展開することにより、それぞれの状況に応じた勤労者福祉の充実を図ります。

主な
取組

(1) 福利厚生推進

呉市きんろうプラザの管理運営，くれ勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生事業，呉市が金融機関に資金を預託し，金融機関が生活資金を勤労者に低金利で融資など

指標

項目	現状	目標
企業立地助成制度活用企業数（累計）	R元 13社	R7 28社
雇用促進事業による就職者数（累計）	R元 130人	R7 740人

3

観光の振興

現状・課題

- 呉市の観光は、大和ミュージアムを目的に来訪する通過型観光が中心となっています。観光客が満足する商品やサービスを提供していくことにより、滞在時間の延伸を図り、観光消費額を押し上げることで観光を基幹産業として成長させていく必要があります。
- 長きにわたり、ものづくりのまちとして発展してきたことから、市民等においては観光を産業として捉える意識が希薄となっています。観光を基幹産業として成長させていくためには、市民等が地域固有の歴史や文化などの観光資源に愛着と誇りを持ち、地域経済の活性化のみならず、観光による地域づくりにつなげていく意識の醸成を図る必要があります。
- 市内最大の集客施設である大和ミュージアムは開館 15 年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいます。施設等の整備とともに、新たな魅力創出に取り組む必要があります。

施策

1

観光振興策の展開



施策の方向

様々な人が観光を産業と捉え、それぞれが役割を担い、協力して持続可能な観光振興を推進できるよう、市民、事業者、観光協会、市役所等が一体となった観光推進体制を構築し、呉市全体で観光振興に取り組んでいきます。また、新型コロナウイルス禍における新しい生活様式に対応した観光スタイルの確立についても取り組んでいきます。

呉市の観光に関するデータを調査・分析し、活用することで、より効果的・効率的・戦略的な視点に立った観光振興施策を展開します。さらには、呉市特有の歴史や文化、島しょ部や瀬戸内海国立公園の自然などの地域の特性を生かしながら、観光客のニーズに応じた付加価値の高いサービスを提供することによって、観光産業の質を向上させます。あわせて、観光の拠点となる観光施設の魅力向上等に取り組みます。

また、市民の地域への愛着や誇りの醸成を図り、国内外から訪れる観光客と地元愛に満ちた市民との交流が生まれることで、関係人口の増加を図っていきます。

これらを推進することにより、観光を基幹産業のひとつに発展させます。

大和ミュージアムについては、施設・設備の改修、大規模な展示更新等によるリニューアルを行うとともに、周辺施設との連携等を図り、呉市最大の集客施設としての魅力向上と博物館としての機能強化を図ります。

- 序論
- 基本構想
- 基本計画
- 第1章
- 第2章 前期基本計画
- 第3章

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5 産業分野
- 6
- 7
- 8

主な
取組

- (1) マーケティングに基づく戦略的な観光振興
- (2) 民間における観光産業の質的向上の継続による顧客獲得
- (3) 観光に関する市民意識の醸成
- (4) 観光推進体制の充実
- (5) 観光施設の魅力向上
青山クラブ等の活用など
- (6) 大和ミュージアムの魅力向上
大和ミュージアムの施設や設備の改修，大規模な展示更新等による
リニューアルなど

指 標

項 目	現 状		目 標	
観光消費額（年間）	R元	249 億円	R7	300 億円

4 農水産業の振興

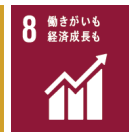
現状・課題

- 農業・漁業は、作業環境の厳しさや不安定な収入などから従事者が年々減少しています。また、天候など様々な要因による価格の低迷や資源の減少などに大きく影響を受けることから安定経営が難しい傾向にあります。
- 国内有数の生産量を誇る農水産物があるにもかかわらず、それらを農業者・漁業者の所得向上に生かし切れていない状況にあります。
- もうかる農水産業への転換を図るため、農水産物の安定的な供給体制を整えると同時に、品質や付加価値を高めることによるブランド化と販路の拡大及び6次産業化・農商工連携を推進する必要があります。
- 農業の生産性向上のため、農道等の農業基盤の整備を行い、効率的な農業経営を図る必要があります。
- 豪雨時などに、管理が行き届かなくなった農業用ため池を要因とした被害が拡大する恐れがあります。
- 雨に脆弱な地質的・地形的特性から市民の安全・安心な生活環境を確保するため、治山事業や森林整備などを計画的に実施する必要があります。
- 有害鳥獣による被害や遊休農地の増加は、農村環境の保全にも影響を及ぼしています。国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全など、多面的な役割を果たしている農業を維持していく必要があります。
- 地球温暖化に伴う海水温の上昇による海藻の立ち枯れや沿岸域の開発などにより、天然の藻場・干潟が減り水産資源が減少しています。豊かな海を取り戻すために、適切な資源保護、漁場環境の改善が求められています。

施策

1

農業・漁業経営体の確保・育成・強化



施策の方向

新規就業の前後から定着に至るまで、きめ細やかな支援に取り組むことで、新規就業者の確保・育成を図るなど、多様な担い手の確保に取り組めます。

また、経営規模の拡大に向けた法人化を促進するとともに、農業委員会、農業協同組合、広島県等の関係機関との連携を強化して、担い手への農地集積の推進を図ります。

さらには、AIやIoTなどの先端技術を活用したスマート農業・水産業や、養殖漁業に取り組むなどの経営の多角化を支援することで、経営の持続的な発展を図ります。

主な
取組

- (1) 多様な担い手の確保・育成
新規就農者・漁業就業者の総合支援, 新規農業参入企業への支援など
- (2) 農業・漁業経営の安定化
養殖漁業・水産加工業等への参入支援など
- (3) 農地集積の推進
- (4) スマート農業・水産業の推進
先端技術を活用した農業・水産業への支援など

施策

2

農水産物のブランド化・ 販路拡大・流通



施策の
方向

生産者, 農業協同組合・漁業協同組合, 地域の商工業者等が連携して, 市場への流通, アンテナショップ, インターネットなどの多様な販売チャンネルを活用したPRや販路の開拓・拡大とともに, 品質や付加価値の向上による国内有数の生産量を誇るレモン・牡蠣^{かき}等の農水産物のブランド化等を推進します。

また, 産直市の開催や学校給食等への呉市産食材の提供などにより地産地消を推進し, 地元での呉産品の魅力を向上します。

主な
取組

- (1) 産地育成・農水産物のブランド化の推進
フルーツ等特産物の生産拡大, 6次産業化・農商工連携など
- (2) 農水産物のPR推進, 販路拡大支援
首都圏でのPR, インターネット等を活用した販路拡大への支援など
- (3) 地産地消の推進
産直市の開催, 学校給食への呉市産食材の提供など
- (4) 地方卸売市場の運営



施策の方向

生産性の向上と経営規模の拡大等を図るため、農地や農道等の農業生産基盤の整備・保全を推進するとともに、防災・減災対策として、農業用ため池の管理体制の確保や不用なため池の廃止など適正な管理を促進します。

また、農業が有する多面的機能の維持・保全を図るため、農村環境の維持・保全に取り組む団体等への支援や、効果的な有害鳥獣被害対策を実施します。

さらには、グリーンヒル郷原を始めとする農業振興施設の機能充実を図るとともに、農業体験イベント等の実施により市民に対する農業のPR（啓発）とふれあいの場の創出を図ります。

主な取組

(1) 農業生産基盤の整備・保全

生産性向上を図るための農地整備，農業用施設の安全性確保・機能維持に向けた計画的な管理など

(2) 農業用ため池の適正な管理

管理体制の確保，不用となった防災重点ため池の廃止，防災重点ため池のハザードマップ作成・公表など

(3) 農村環境の保全

農村環境の維持・保全に取り組む団体等に対する支援など

(4) 有害鳥獣被害対策の充実

防護柵設置助成，狩猟免許取得助成，ジビエの活用など

(5) 農業振興施設の活用

グリーンヒル郷原の改修・整備，農業体験機会の提供など



施策の
方向

被災山地の早期復旧を進めるとともに、山地災害の発生を防ぐため、計画的な治山事業を促進します。

また、人工林の間伐や天然林・林道の整備を推進するとともに、森林経営管理制度に基づく私有林の整備を推進し、災害に強い豊かな森林の形成を図ります。

主な
取組

(1) 山地災害の防止

計画的な治山事業の促進、小規模崩壊地復旧事業の推進など

(2) 適切な森林管理

人工林の間伐、天然林の整備、林道の適切な維持管理、森林環境譲与税を活用した私有林に対する森林整備など

5 漁業生産基盤の整備・保全



施策の
方向

魚礁等による藻場の整備や栽培漁業を推進するとともに、海底堆積物の除去等を行うことにより漁場環境を維持・修復し、水産資源の確保を図ります。

主な
取組

- (1) 水産資源の確保・増大
藻場造成，栽培漁業の支援など
- (2) 漁場環境の整備・保全
藻場造成，海底堆積物の除去，漁場の持つ公益的機能の啓発による市民と共同した漁業環境の維持・保全など
- (3) 漁港施設の整備
老朽化した漁港施設の計画的改修など
- (4) 漁港施設の維持管理

指標

項目	現状		目標	
新たな農業法人の設立・参入件数（累計）	R元	1件	R7	6件
新たな養殖漁業等への取組件数（累計）	R元	2件	R7	7件
有害鳥獣による農作物の被害面積（年間）	R元	27ha	R7	23ha